

第1回恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定委員会【会議要旨】

日時：令和元年9月3日(火)

午後1時30分～午後3時20分

場所：市役所会議棟大会議室

1. 開会
2. 委嘱書交付
3. 市長あいさつ
4. 自己紹介
5. 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定委員会設置要綱について
6. 委員長及び副委員長の選出
7. 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定に関するスケジュール等について
8. 議事
 - (1) 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画について
 - (2) 会議の公開及び公表について
9. その他
10. 閉会

公開または非公開の別 公開

出席者（敬称略）

市長：小坂喬峰（途中退席）

委員長：磯部友彦

副委員長：山本好作

委員：前川登、山内達雄、額綱錬一、中垣重壽（代理）、阿部伸一郎

オブザーバー：武田正昭、八田雅昭

傍聴者 4名

1. 開会

2. 委嘱書交付

市長から委員・オブザーバーを委嘱

3. 市長挨拶

本計画はリニア中央新幹線の効果を市全域に波及させるため基盤整備を考えるもの。世界基準の品質やサービス、ブランド力が求められる。やるべきことはたくさんあり、それを支える基盤をいかに構築していくか。皆さんの活発な意見をいただきたい。

4. 自己紹介

各委員・オブザーバーから自己紹介

5. 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定委員会設置要綱について

事務局から恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定委員会設置要綱のとおり説明。

6. 委員長及び副委員長の選出

委員長：学識経験者 中部大学工学部教授 磯部友彦委員

副委員長：恵那商工会議所からの推薦 山本好作委員

(市長退席)

7. 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定に関するスケジュール等について

- ・第1回委員会 9月 3日(火) 13時30分～
- ・パブリックコメント 9月 10日(火)～10月 9日(水)
- ・第2回委員会 11月 1日(金) 13時30分～
- ・第3回委員会 11月下旬～12月中旬

8. 議事

(1) 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画について

事務局から「はじめに～第1章」について説明

《発言内容》

(前川委員)

- ・ストック効果の具体的な例を教えてください。

(事務局)

- ・リニア建設の際に造られる工事用道路を恒久的な道路とし、沿線の発展等への有効活用を考えている。

(磯部委員長)

- ・一般的なストック効果としては、リニアへのアクセス道路沿道における土地利用の促進等が継続的に行われることなどが考えられる。

(阿部委員)

- ・リニアのトンネル工事の際に発生する残土は有効活用できないか。

(事務局)

- ・現在確定していないが、建設発生土の有効利用として、建設発生土活用候補地の谷を埋めて農地造成を行う計画が進められている。

(前川委員)

- ・リニアが通ることによって得をする人と損をする人がいる。損をする人にも納得してもらえよう、リニアのメリットを説明する必要がある。

事務局から「第2章」について説明

《発言内容》

(山本副委員長)

- ・道路について、自動車以外の歩行者や自転車の利用についても記載が欲しい。また、国道19号について、永田ランプだけでなく、前後2車線の区間の交通渋滞も解消しないといけない。

(事務局)

- ・現在国土交通省は、国道19号瑞浪恵那道路の建設に力を入れられている。瑞浪恵那道路整備後には、正家～まきがね間の恵那バイパスの暫定2車線化区間についても改良を要望していきたい。

(前川委員)

- ・P27 ⑦⑧について、現在、道幅が狭いため緊急車両等が通行しやすくなるよう道路にしてほしい。

(事務局)

- ・道路が狭いと住民の意見があり、後期計画で大井町を面的に整備していく計画としており、今後、住民と協議を行っていく。

(磯部委員長)

- ・構成として、地域別の流れをまとめるとわかりやすくなると思う。

(中垣委員代理)

- ・P19について、正家清水交差点から国道19号正家交差点間で渋滞が発生している。正家第二区画整理による交通量の増加で、正家清水交差点付近で国道257号を北進し右折する車両による渋滞が発生することはないか。

(事務局)

- ・P38 後期計画で正家清水交差点の手前で国道257号から正家第二区画整理方面に向かう道路を整備することで、交通量の分散を図りたい。

(中垣委員代理)

- ・市内に住宅地が少ないため、住宅地を確保するまちづくりができないか。

(事務局)

- ・リニア関連の工場などが来ることにより住民が増加することが予想される。P39~41 大井町東地域、大井町7区、武並町西部地域では面的な整備を行うことで、道路と併せて住宅地整備等の土地利用を進めていくことを考えている。

事務局から「第3章～第5章」について説明

《発言内容》

(磯部委員長)

- ・前期計画にはリニア建設に対する対策面が強く、早く整備を行う必要のあるものが入ってい

る。整備が後になればなるほどリニア効果が弱くなるので、後期計画の内容は前倒しになるとよい。

(山本副委員長)

- ・後期・将来計画に注目している。先のことを考えると、縦断・環状道路は非常に重要。今から都市計画図を書き直すなど、踏み込む必要がある。

(前川委員)

- ・後期高齢者が増えていく社会では、自動車だけでなく自転車・歩行者のネットワークを考えていく必要があると思われる。自転車や歩行者を考えると、道路の計画幅員 5mでは狭い気がする。

(事務局)

- ・計画幅員には側溝を含まない幅員を記載している。表現方法については検討する。

(武田オブザーバー)

- ・上位計画に都市計画マスタープランやリニアまちづくり構想があるので、それらを踏まえて本計画では何をまとめるのかより明確にするとよい。

(八田オブザーバー)

- ・広域アクセス、市内アクセスについてわかりやすくまとめられている。道路ネットワーク的なまとめ方について、自動車以外の視点が追加されるとよい。

(前川委員)

- ・パブリックコメントには本資料全てを公表するのか。

(事務局)

- ・概要版も用意しており公開する。計画（案）は省略せずに公開する。

(山本副委員長)

- ・中心市街地で区画整理ができないか。使いやすく魅力のある中心市街地にしていく必要があると思う。

(事務局)

- ・10年後 20年後のまちを考えたときに、そうした発想もある。地権者の意向がまとまるとよい。

(磯部委員長)

- ・まちの魅力を上げていかないと中心市街地に人を集めても意味がないと思われる。
- ・交通を国道 19 号のみに依存してはいけないので、市内アクセス、生活道路については、市民の使いやすい道路整備を計画する必要がある。

(2) 会議の公開及び公表について

原則公開とし、個人情報を取り扱うような場合には委員長と協議して決定する

9. その他

第 2 回策定委員会 11 月 1 日（金）13 時 30 分～ 会議棟大会議室

10. 閉会